

クラウド録画型ウェアラブルカメラ

# Safie Pocket2 Plus

## 操作説明書



- この度は Safie Pocket2 Plus をご利用いただき、誠にありがとうございます。本体を操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくご利用ください。また、お読みになった後も、必ず保管してください。
- 本説明書で使用している画面は、ソフトウェアのバージョンの違い等により実際の製品と異なる場合があります。
- 本体のファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が予告なく変更となります。

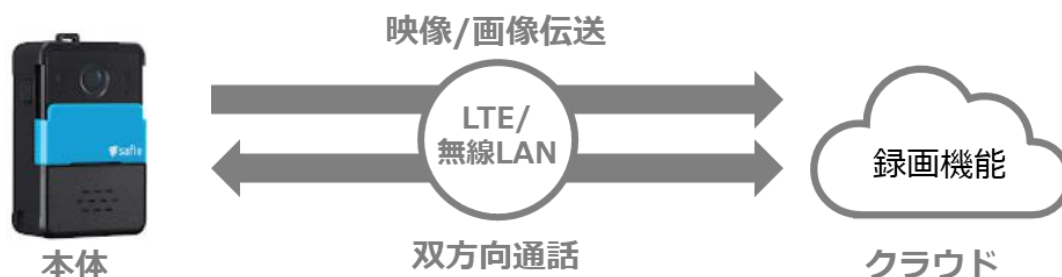
## 1. 目次

1.	目次 .....	2
2.	製品概要 .....	4
3.	お使いになる前に .....	4
	付属品の確認 .....	4
	各部の名称と役割 .....	5
	各 LED の状態表示 .....	7
	製品仕様 .....	8
4.	電源を入れる/電源を切る .....	9
5.	映像を録画する .....	9
	録画の開始 .....	9
	録画時の画面表示 .....	9
	手ぶれ補正を設定する .....	13
	デジタルズーム設定 .....	14
	マイクの ON/OFF 設定 .....	15
	バッテリー残量アラート設定 .....	15
	録画/録音の一時停止/再開 .....	15
	ローカルバックアップ機能 .....	16
	ローカル録画モード .....	16
6.	取り付け用クリップ/三脚アダプターの脱着 .....	17
	取り付け方 .....	17
	取り外し方 .....	17
7.	映像を見ている人と通話する .....	18
	発信する .....	18
	着信する .....	18
	終話する .....	18
	通話モード .....	18
	通話中にマイク設定を変更する .....	18
8.	スナップショットを撮影する .....	19
	CALS に対応した画質・ファイルサイズで撮影する .....	19
9.	本体を充電する .....	20
	クレードルで充電する .....	20
	本体に DC ケーブルを挿して充電する .....	21
10.	メニュー画面について .....	21
	メニューを開く/閉じる .....	21

メニュー画面内での操作方法 .....	21
設定メニューの内容.....	22
カスタムキー設定 .....	23
11. Bluetooth デバイスと接続する.....	23
Bluetooth の有効化/無効化.....	23
Bluetooth デバイスと接続する .....	23
12. ネットワークを設定する .....	26
無線 LAN を設定する .....	26
ネットワークの自動選択.....	29
13. GPS を設定する .....	29
14. その他の操作.....	30
広角補正を有効にする.....	30
露出を補正する .....	30
ファームウェアをアップデートする .....	30
ディスプレイの点灯時間を変更する .....	31
デバイスの状態を確認する.....	31
ライセンスを確認する.....	31
15. 安全上の注意.....	33
16. 付録.....	38
故障かな？と思ったら.....	38
認証規格の表示 .....	39
2.4GHz 帯ご使用上の注意 .....	39
5GHz 帯ご使用上の注意 .....	39
本製品に関するお問い合わせ .....	39

## 2. 製品概要

本製品はクラウド録画型のウェアラブルカメラです。カメラで撮影された映像はネットワークを介して録画されます。録画機能のほかにも、静止画を撮影してクラウドに保存する機能、クラウドを介して PC やスマートフォンアプリなどからカメラの映像を閲覧している人との通話機能を持っています。



### 【本紙の説明範囲】

本紙の説明は上記の図中の本体側の操作方法を記載します。接続先のクラウドの仕様はお買い求め先までお問い合わせください。

## 3. お使いになる前に

本製品をお使いになる前に本章および「15 安全上の注意」をお読みください。

### 付属品の確認

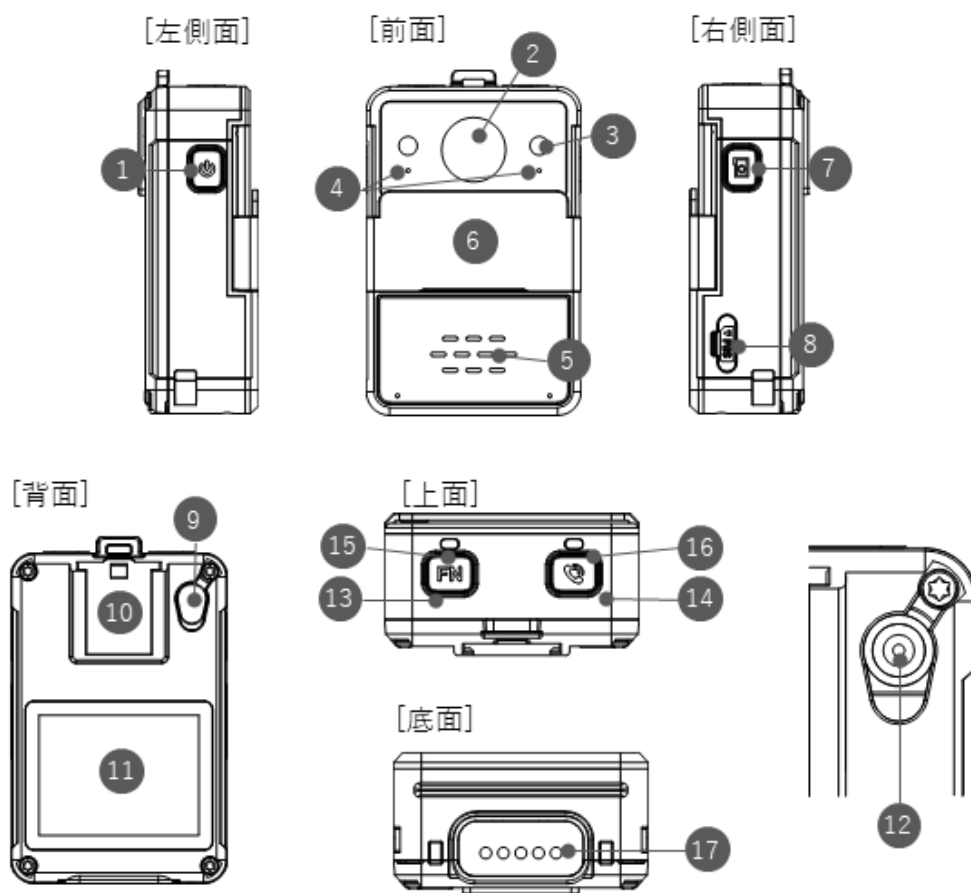
開梱時、以下の付属品が入っていることを確認してください。

- Safie Pocket2 Plus 本体
- Bluetooth ヘッドセット (※)
- 充電用クレードル
- AC アダプター
- DC ケーブル×2
- USB -Type-B ケーブル
- 取付用クリップ
- 三脚用アダプター
- マウント用アダプター
- 保護フィルム (※)
- ストラップ (※)
- クリアポーチ (※)
- Safie Pocket2 Plus 取扱説明書

※レンタルまたはお買い上げの販売店や提供形態（レンタル等）により同梱物が変わることがあります。

## 各部の名称と役割

本製品の各部の名称を説明します。



番号	名称	役割
①	電源ボタン	短押：ディスプレイスリープ/復帰 長押：電源 ON/OFF
②	レンズ	映像を撮影するためのレンズ
③	白色 LED	撮影用 LED ライト
④	内蔵マイク	カメラ本体のマイク※1
⑤	内蔵スピーカー	カメラ本体のスピーカー ※1
⑥	レンズスライドカバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 撮影や設定する場合、レンズカバーを開きます</li> <li>・ 動作中閉じると録画及び録音、通話など機能が停止します（5分でスリープ状態になります）</li> <li>・ レンズカバーを上げるとシリアルナンバーを確認できます</li> </ul>
⑦	スナップショットボタン	短押：スナップショット撮影、設定メニュー画面の移動 長押：カスタムキー2 ※2
⑧	nano SIM スロット	nano SIM 専用の SIM カードスロット

⑨	端子カバー	DC ケーブルの挿入口
⑩	アタッチメントホルダー	同梱の取り付け用クリップおよび三脚用アダプターの装着箇所
⑪	ディスプレイ	撮影している映像やデバイスのステータス閲覧
⑫	DC ジャック	同梱の DC ケーブルから給電する際の端子 ※3
⑬	FN ボタン	短押：メニュー画面表示 長押：カスタムキー 1 ※2
⑭	呼び出しボタン	短押：設定メニューの決定 長押：呼び出し動作
⑮	充電状態 LED	充電の状態を示す LED
⑯	端末状態 LED	端末の状態を示す LED
⑰	充電端子	同梱のクレードルから給電する際の端子

※1 Bluetooth 機器接続時には内蔵マイク・スピーカーは利用できません

※2 カスタムキーは設定メニューでユーザーが任意でボタン機能を割り当てられます

※3 DC ケーブルは根本までしっかり差し込んでください（差し込みが不完全の場合、浸水により故障の原因となります）

## 各 LED の状態表示

本製品には端末の充電状態やクラウドとの接続状態などを本体上部に配置された 2 つの LED によって表示します。各 LED の点灯パターンと見方は以下のとおりです。



### 充電状態 LED (FN ボタン側)

状態	意味
消灯	電源未接続
青点滅	電源接続中（充電中）
青点灯	電源接続中（充電完了）

### 端末状態 LED (呼び出しボタン側)

状態	意味
黄点灯	カメラ起動中、スリープ状態
緑点滅	サーバー接続処理中、またはローカル録画開始
緑点灯	サーバー接続済み（録画中）、 またはローカル録画実施中
黄/緑点滅	サーバー接続済み（非録画）
赤/緑点滅	ファームウェアアップデート処理中 （電源を切らずに 10 分ほどお待ちください）
黄点滅	アクティベーション処理中 または内部ストレージアップロード中
赤点滅	異常状態

## 製品仕様

本製品の各部の仕様は本節に記載のとおりです。

### ハードウェア仕様

外形	高さ 84mm x 幅 55mm x 厚み 30mm	
重量	約 180g (バッテリー含む)	
画角	水平 120°、垂直 86° (最大) ※映像設定により異なる	
有効	映像	100 万画素
画素数	スナップショット	200 万画素
照明	白色 LED を任意に切り替え可能	
ケーシング	IP67	
動作周囲温度	-20~50℃	
マイク	○	
スピーカー	○	
ホワイトバランス	○ (自動)	
映像回転	○ (90°/ 180°/ 270°)	
手ぶれ補正	○	
デジタルズーム	最大 8 倍	
映像出力	LTE もしくは無線 LAN による伝送	
映像圧縮方式	H.264	
ディスプレイ	2 インチ LCD ディスプレイ (W40.80xH34.20mm)	
本体給電	○(本体に DC ケーブルを DC ジャック接続して充電)	

### 無線仕様

無線 LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
SSID 登録上限	5 個
LTE	○
APN 登録変更	レンタル出荷時の設定から変更不可
対応 SIM	Soft SIM (NTT ドコモ系 MVNO の LTE 回線を利用)
Bluetooth	Bluetooth 4.2 (HFP/HSP)
測位衛星システム	GPS/BeiDou



## 電源仕様

バッテリー容量	4,200mAh（取り外し不可）
バッテリー駆動時間	最大 8 時間※
AC アダプタ	DC5V/2A

※バッテリー容量と消費電力をもとにした理論値になります。実際のご利用環境や端末の設定、ご利用条件によって変動します。

## 4. 電源を入れる/電源を切る

### ・電源を入れる

画面上に「Power On」が表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。

### ・電源を切る

画面上に「Power Off」が表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。



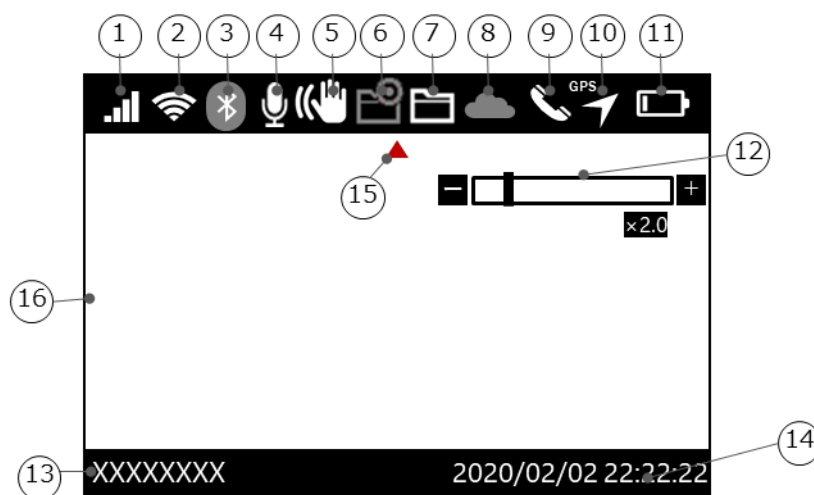
## 5. 映像を録画する

### 録画の開始





本体の電源を入れると、自動的に録画が始まります。

※レンズカバーが閉まった状態だと録画されません。詳細は本書の「マイクの ON/OFF 設定」の節を参照してください。

### 録画時の画面表示











## ①LTE 接続状況

OFF	SIM エラー※1	モジュール エラー※2	未接続
			

※1 SIM の故障や未挿入の場合こちらが表示されます。

※2 LTE モジュールの故障/不具合の場合こちらが表示されます。

接続済み	通信中
   	   



## ②無線 LAN 接続状況

OFF	未接続	接続済み	通信中
		   	   

## ③Bluetooth 接続状況

OFF	未接続	接続済
		

## ④マイク設定

OFF	ON
	

## ⑤映像補正設定

補正なし	手ぶれ補正	広角補正
		

## ⑥ローカル録画モード

OFF	ON（非撮影）	ON（撮影中）
		

## ⑦バックアップデータ

バックアップ データなし	バックアップ データあり	バックアップ中	アップロード中
			

## ⑧クラウド接続状況

未接続または 非ストリーミング	ストリーミング設定 OFF	接続中（ストリーミ ング）
		






## ⑨通話状況

未接続	通話中
	

## ⑩GPS 状況

OFF	未受信	受信済
		

## ⑪電池残量

極小 0～9%	小 10～39%	中 40～69%	大 70～89%	満充電 90～100%
				

## ⑫デジタルズーム設定倍率

デジタルズームの倍率を表示します。

- ・上段のスライダー：ズーム倍率に応じてマーカーが+と-の間を動きます
- ・下段：ズーム倍率（×1.0～×8.0）

### ⑬シリアルナンバー

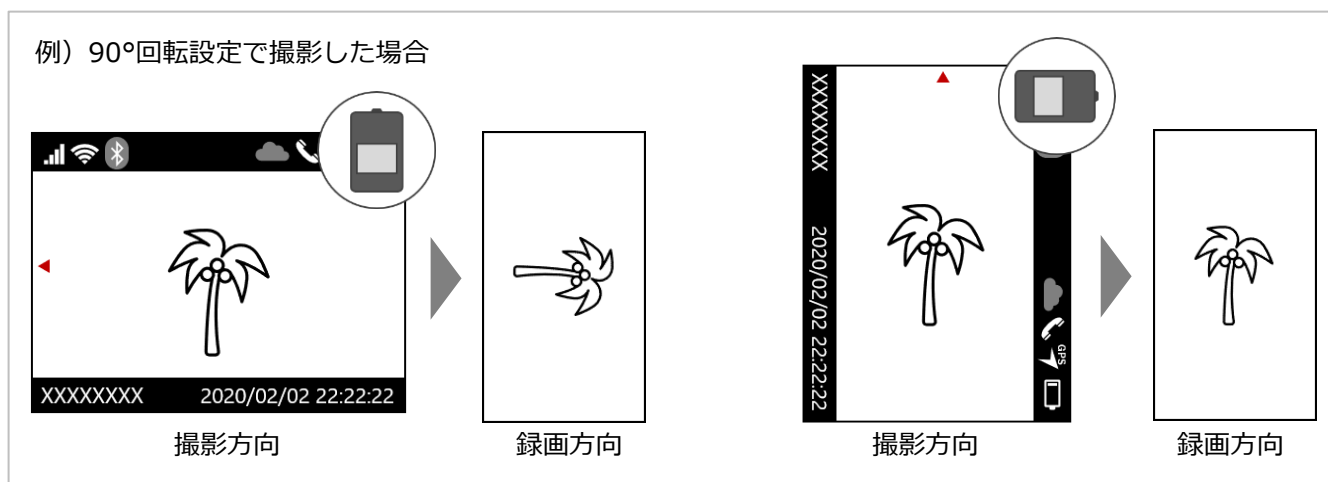
カメラ本体のシリアルナンバーです。トラブルのご相談の際には必ず事前にご確認ください。

### ⑭時刻

現在時刻を表示します。日本標準時（JST）が自動で取得されます。

### ⑮方向ガイド

本製品はクラウド側の操作で録画の方向を 0°/90°/180°/270°で回転することができます。方向ガイドが**上を向くようにして撮影**することで、正しい方向で録画することができます。



### ⑯プレビュー画面

現在録画されている映像をプレビュー表示します。スナップショットを撮る際の映像確認や設置時の画角の調整の際にご確認ください。

## 手ぶれ補正を設定する

本体操作で手ぶれ補正の ON/OFF 設定ができます。カメラを装着した作業者が激しく動く現場でもクリアな映像で保存・配信を実現、長時間のモニタリングに最適です。(初期設定は手ぶれ補正 ON に設定)



### ◆ご注意ください◆

- ・手ぶれ補正 ON 時は補正領域を確保するため画角が狭くなります
- ・手ぶれ補正 ON 時はバッテリー消費が増えるため、バッテリー稼働時間が短くなります。
- ・手ぶれ補正を ON の時に、デジタルズーム設定画面に入ると一時的に手ぶれ補正が OFF となります。デジタルズーム設定画面から抜けると、デジタルズームは  $\times 1.0$  に変更され、手ぶれ補正が ON に戻ります。
- ・手ぶれ補正を ON にすると自動でデジタルズームの設定値が  $\times 1.0$  に変更されます
- ・手ぶれ補正と広角補正は同時に設定できません
- ・手ぶれ補正の設定を変更すると自動で再起動します

## デジタルズーム設定

本体操作でデジタルズームを最大 8 倍まで設定をすることができます。最大 8 倍のデジタルズームで撮影対象から離れた場所からの撮影が可能です。(初期設定はデジタルズーム×1.0 に設定)

### 設定の流れ



### 設定方法

- ・縮小： **[FN]** ボタンを短押しして×0.1 ずつ縮小、長押しで×0.5 ずつ縮小します
- ・拡大： **[手ぶれ補正 OFF]** ボタンを短押しして×0.1 ずつ拡大、長押しで×0.5 ずつ拡大します
- ・撮影： **[カメラ]** ボタンを短押しすると、スナップショット撮影をします
- ・決定： **[電源]** ボタンを短押しすると、ズーム倍率が固定されプレビュー画面に遷移します (※)

※手ぶれ補正 ON 時は、手ぶれ補正機能が優先されるため、**[電源]** ボタンを短押しすると、ズーム倍率が×1.0 に変更され、プレビュー画面に遷移します。ズーム倍率を固定する場合は、手ぶれ補正を OFF に設定 (前項) の上、デジタルズーム設定を行ってください。



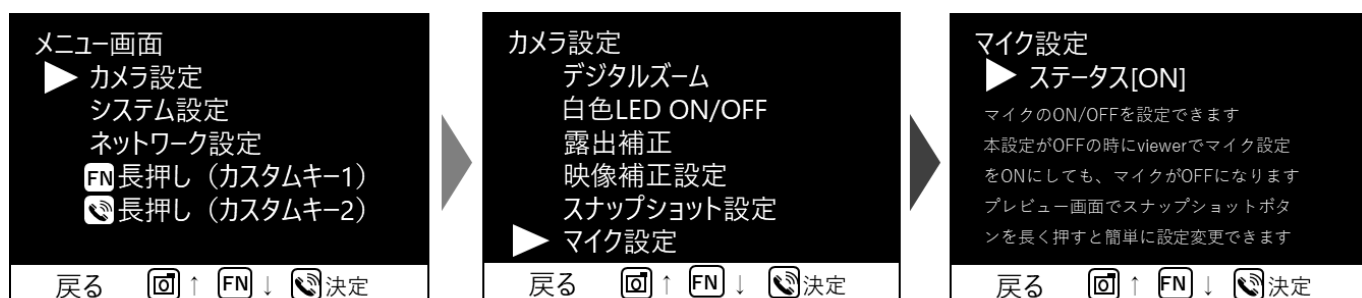
#### ◆ご注意ください◆

- ・手ぶれ補正を ON の時に、デジタルズーム設定画面に入ると一時的に手ぶれ補正が OFF となります。デジタルズーム設定画面から抜けると、デジタルズームは ×1.0 に変更され、手ぶれ補正が ON に戻ります。
- ・手ぶれ補正を ON にすると自動でデジタルズームの設定値が ×1.0 に変更されます

## マイクの ON/OFF 設定

本体操作でマイク ON/OFF 設定をすることができます。本体のマイク設定は Viewer でのマイク設定とは独立して設定されます。本体でマイク設定が OFF の時に、Viewer でマイク設定を ON にしても、本体のマイク設定は OFF が維持されます。(初期設定はマイク設定 ON に設定)

### 設定の流れ



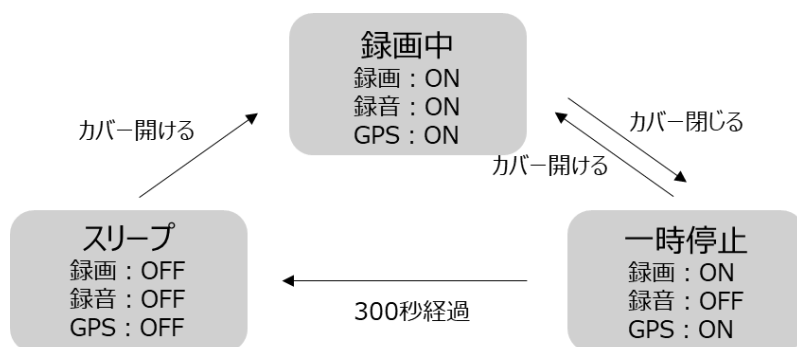
## バッテリー残量アラート設定

バッテリー残量が少なくなった際のアラート通知の ON/OFF 設定できます。バッテリー残量アラートを ON に設置した場合、バッテリー残量が 10%以下になったときにポップアップ表示と音声による通知を行い、バッテリーの充電を促します。(初期設定はバッテリー残量アラート ON に設定)



## 録画/録音の一時停止/再開

本体のレンズカバーの開閉により、録画の一時停止やスリープ状態への遷移、また録画状態への復帰が可能です。以下、簡単な状態の遷移図です。



## ・録画の中断

録画中の状態でレンズカバーを閉めると音声の録音を停止し、一時停止状態になります。（無音状態でレンズカバーを閉じた映像が録画されます。）また、その状態で 300 秒経過すると録画と GPS 位置情報の取得が停止し、スリープ状態になります。

### ◆ご注意ください◆

スリープ状態は復帰を即座に行うため完全に動作を止めておらず、バッテリーを消費します。長時間ご利用しない場合は電源を切って保管してください。

## ・録画の再開

一時停止もしくはスリープの状態でレンズカバーを再び開けると録画状態に戻ります。

※カバーを開けてから再接続まで約 5 ～ 10 秒程度かかる場合があります。

## ローカルバックアップ機能

ローカルバックアップ機能とは、カメラに電源が入った状態でネットワークが切断(※1)した際に、カメラの内部ストレージに映像を録画し、ネットワーク復旧後 内部ストレージに録画された映像をクラウドに自動でアップロードする機能です。（内部ストレージ内の映像はクラウドにアップロード後、自動で削除されます）

内部ストレージは約 20GB の容量で、目安として約 30 時間分(※2)の保存が可能です。

※1 短い間隔で接続と切断を繰り返している場合には、正しく内部ストレージへ録画が保存されません。

※2 理論値です。ご利用の環境や映像の内容により変動します。

### ◆ご注意ください◆

- 映像のアップロードはネットワーク復旧後、しばらくしてから少しずつ行われます。
- 給電状態でレンズカバーを閉じると映像をクラウドへアップロードする状態へ移行します。
- レンズカバーを閉じてスリープ状態になっているときはアップロードされません。

## ローカル録画モード

ローカル録画モードを利用すると、本体の内部ストレージへ録画するローカル録画モードに設定変更できます。ローカル録画モード利用中は、クラウドへストリーム録画を行わない等、一部機能の利用制限が行われます。また、給電状態のままレンズカバーを閉じた場合、内部ストレージ内のバックアップデータをクラウドへアップロードする状態へ移行します。

### ◆ご注意ください◆

- 内部ストレージ内の映像は暗号化されているため、アップロードが完了するまで閲覧することはできません



- クラウドヘストリーム録画を行わないため、リアルタイムに映像を確認することはできません
- 通話機能を利用することができなくなります
- 内部ストレージの残容量が不足した場合、古いデータから上書き保存されます

## 設定の流れ



## 6. 取り付け用クリップ/三脚アダプターの脱着

### 取り付け方

本体背面のアタッチメントホルダーに、同梱の取り付け用クリップや三脚アダプターを取り付けることが可能です。装着物をスライドさせて「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。(図は三脚アダプターの例です)



#### ◆ご注意ください◆

挿し込みが不十分だと利用中にはずれて落下し、けがや故障の原因になります。必ず奥までしっかり挿し込んでご利用ください。

### 取り外し方

アタッチメント上部のタブの部分（右図の丸で囲った箇所）を手前に倒しながら、アタッチメント全体を上へ押し上げてください。



## 7. 映像を見ている人と通話する

本製品では、クラウドを介して映像を視聴している複数人と通話することができます。本章では、通話に際しての発信、着信、終話および通話モードについて説明します。

### 発信する

本体上部の呼び出しボタンを約 1 秒押すとクラウド側に  
対して発信します。クラウド側が応答すると通話が自動的  
に開始します。

約 10 秒間呼び出して応答が無かったら本体からの発信  
を中止します。



### 着信する

クラウド側から本体に発信が入ることがあります。「トゥルルル」と言う呼び出し音の後に、自動的に通話が  
開始されます。

### 終話する

通話中の状態で呼び出しボタンを約 1 秒押すと「ツー、ツー」と言う音の後に終話します。

### 通話モード

メニュー画面からヘッドセット/イヤホン未装着時にクラウドからの通話を拒否する「通話モード」を設定で  
きます。「ヘッドセットのみ」の状態を有効にするとヘッドセット未接続時にはクラウドからの着信を拒否する  
ことができます。予期せぬ着信により、クラウドからの発声が周囲に聞こえてしまうことを防止します。

※初期設定はヘッドセットのみ OFF（ヘッドセット未接続時にも着信許可する状態）になっています。

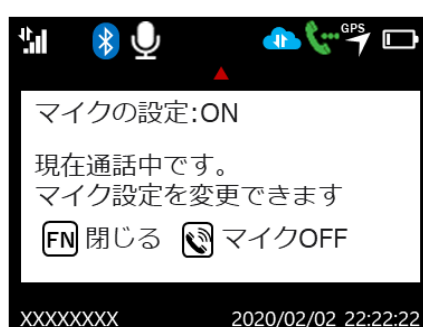
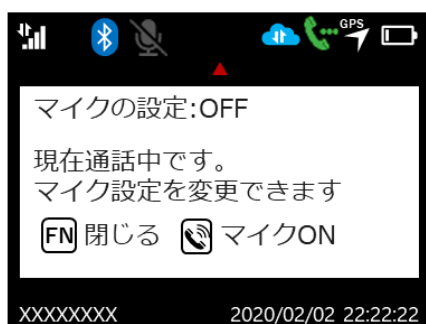
### 設定の流れ



### 通話中にマイク設定を変更する

通話開始時、プレビュー画面にマイク設定のポップアップが表示されます。ポップアップが表示された状態  
で、呼び出しボタンを押すと、マイクの設定を変更することができます。FN ボタンを押すとポップアップ表示  
が閉じます。

## マイク設定のポップアップ表示



## 8. スナップショットを撮影する

映像を録画中の状態では本体側面のスナップショットボタンを押してください。

スナップショットの撮影に成功すると本体から電子音が流れます。

撮影したスナップショットには位置情報や撮影したデバイス情報が付与されます。また、撮影したスナップショットはクラウドから参照可能です。



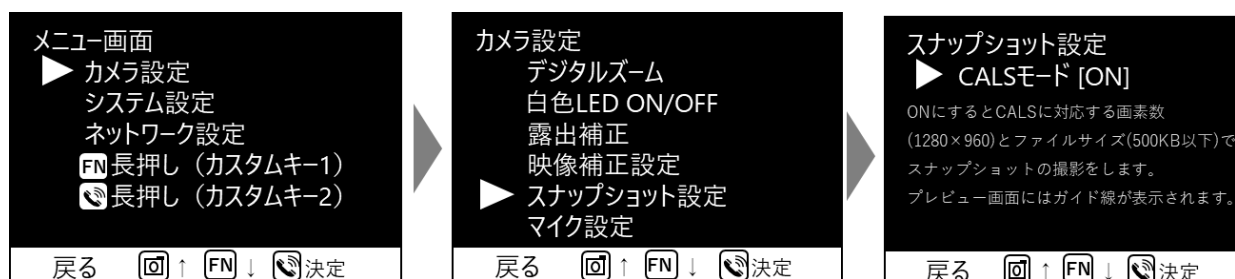
## ◆位置情報の参照◆

撮影した写真の位置情報はダウンロードした端末からプロパティを参照したり、専用のツールで開くことで確認できます。

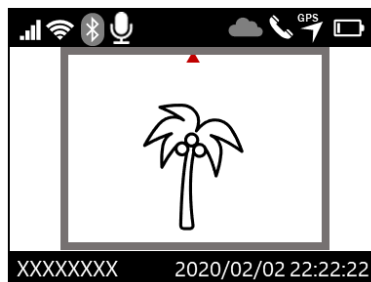
## CALS に対応した画質・ファイルサイズで撮影する

CALS モードを ON にすることでスナップショットを工事写真提出用に適した CALS に対応する画素数 (1280×960)、ファイルサイズ 500KB 以下で撮影することができます。

## 設定の流れ



CALS モードが ON にするとプレビュー画面に 4 : 3 のガイド線が表示されます。撮影したい対象物がガイド線の内側に納まるように撮影をしてください。



## 9. 本体を充電する

本体の充電には、同梱の充電用クレードルを利用する方法と本体に DC ジャックを挿して充電する方法の 2 通りあります。バッテリー劣化の原因になるので充電完了後は速やかに充電を終了してください。

### クレードルで充電する

#### クレードルとの接続

同梱のクレードルに DC ケーブルを接続し、クレードルに本体を「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。

クレードルに接続後、充電状態 LED が青色で点滅したら正しく充電されています。本体の充電が完了したら青色点滅→青色点灯に変化します。



#### クレードルからの取り外し

本体をクレードルから取り外す際は、クレードルをしっかりと持って本体を手前（レンズ側）に倒してください。本体を後ろに倒したり、無理に上に引っ張ると破損や故障の原因になるのでご注意ください。



## 本体に DC ケーブルを挿して充電する

端子カバーを開け、DC ケーブルを DC ジャックに接続してください。DC ジャック給電とクレードル給電を同時に行わないでください。バッテリーパックの劣化、火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。

DC ケーブルの USB Type-A コネクタ部は防水性能が無いため濡らさないでください。

DC ケーブルと保護カバーが密着する（隙間がない状態）まで、DC ケーブルを押し込んでください。差し込みが不完全の場合、浸水により故障の原因となります。



## 10. メニュー画面について

本製品は、本体のネットワークの設定や設定状況を参照するためのメニュー画面を持っています。本章では、メニュー画面の表示方法やその中の各メニューの意味、ボタンに任意の機能を割り当てることができるカスタムキーについて説明します。

### メニューを開く/閉じる

#### メニューを開く

メニュー画面を表示するにはディスプレイ点灯中に FN ボタンを押してください。



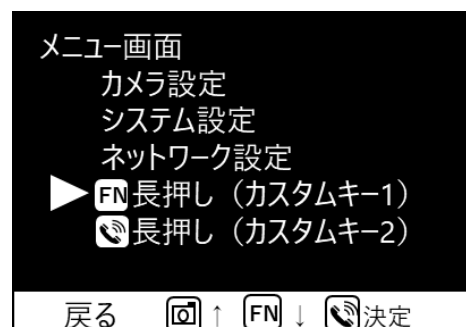
#### メニューを閉じる

メニュー画面のトップで「戻る」を選択、もしくは FN ボタンの長押しでメニュー画面を閉じることができます。

### メニュー画面内での操作方法

メニュー内では、本体の各ボタンを押して操作します。

ボタン	役割
	カーソルを上に移動します。
	カーソルを下に移動します。
	カーソルで選択している項目を確認します。



## 設定メニューの内容

メニュー画面内、各メニューの役割は下表のとおりです。詳細な使い方は関連する章の説明をご参照ください。

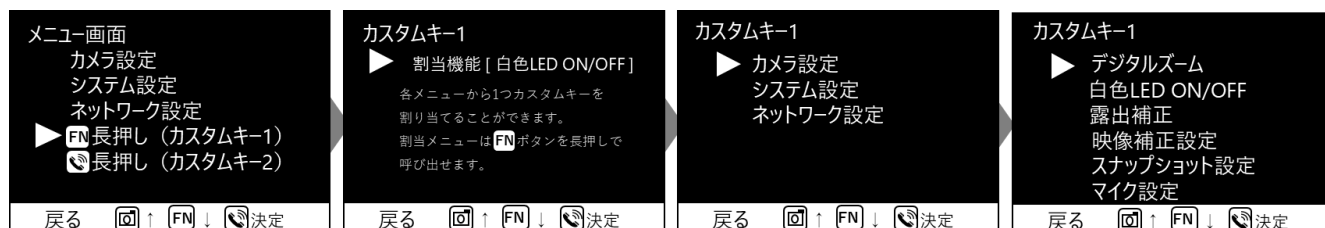
カメラ設定	デジタルズーム	デジタルズームの倍率（×1.0～×8.0）の設定ができます。
	白色 LED ON/OFF	カメラ前面の白色 LED を ON/OFF できます。
	露出補正	撮影時の露出を補正します。
	映像補正設定	手ぶれ補正、広角補正の設定ができます。
	スナップショット設定	工事写真提出用に適した CALS に対応する画素数（1280×960）、ファイルサイズ 500KB 以下でスナップショットを撮影する設定をします。
	マイク設定	マイクの ON/OFF 設定をします。
システム設定	システム情報	端末の温度やバッテリー残量、ファームウェア情報や MAC アドレスを参照できます。
	通話モード設定	クラウドからの着信時に、ヘッドセット未接続時に着信を応諾するかの設定が行えます。
	Bluetooth 設定	通話時に利用する Bluetooth ヘッドセット/スピーカーの追加や削除が行えます。
	GPS 設定	GPS 機能の有効/無効を設定します。
	ディスプレイ設定	ディスプレイが自動的に OFF するまでの時間を変更します。
	バッテリー残量アラート	バッテリー残量が少なくなった際のアラート通知の ON/OFF 設定できます。
	ファームウェア更新	現在のファームウェア情報の参照や新しいファームウェアへのアップデートが行えます。
	ライセンス	本端末に関する技適やライセンスに関する情報を表示します。
ネットワーク設定	ローカル録画モード	本体の内部ストレージへ録画するローカル録画モードに設定変更できます。
	無線 LAN 設定	無線 LAN の管理および任意の SSID に対して優先設定を行います。
	LTE 設定	LTE 通信の ON/OFF ができます。尚、APN は固定されており、変更することはできません。
	QR コードスキャン	QR コードを読み込むことで無線 LAN の SSID/パスワードの登録を行います。

## カスタムキー設定

本製品は、スナップショットボタン長押し、FN ボタン長押しにユーザー任意でショートカットボタン機能を割り当てられます。

カスタムキーに使用頻度の高い設定画面を割り当てることで、ワンプッシュでその画面を呼び出せるので、ボタン操作の回数を減らすことができます。

初期設定は FN ボタン長押し（カスタムキー 1）に**白色 LED ON/OFF**、スナップショットボタン長押し（カスタムキー 2）に**デジタルズーム**が割り当てられています。



## 11. Bluetooth デバイスと接続する

本製品は、本体に内蔵のスピーカー、マイクのほかに外部の Bluetooth デバイスによる音声の入出力が可能です。本章ではそれらとの接続方法について説明します。

### Bluetooth の有効化/無効化

Bluetooth デバイスを接続してご利用する場合、本体の Bluetooth 機能を有効にする必要があります。システム設定画面の「Bluetooth 設定」>「ステータス」の画面から設定してください。（初期設定は Bluetooth 設定 ON に設定）

#### 設定の流れ



## Bluetooth デバイスと接続する

### Bluetooth デバイスとのペアリング

システム設定画面の「Bluetooth 設定」>「デバイス追加」から登録してください。デバイス追加画面に入ると付近の Bluetooth デバイスを自動的に検索します。検索された各端末の中から接続したいデバイスを選択してください。なお、ヘッドセットは最大で 3 つまで登録可能ですが、同時に複数接続はできません。





## ◆ご注意ください◆

デバイスを追加する際は Bluetooth デバイス側をペアリングモードに設定してください。設定の方法は機種によって異なるので、ご利用する Bluetooth デバイスの取扱説明書をご参照ください。

## 接続するヘッドセットを変更する

ペアリング済みの Bluetooth デバイスが複数ある場合、「Bluetooth 設定」の画面から接続する Bluetooth デバイスを選択することができます。



## ペアリング済みデバイス欄について

ペアリング済みデバイスの一覧には、Safie Pocket2 Plus 本体がペアリングしている Bluetooth デバイスの一覧が表示されます。Bluetooth デバイス名の横にある各マークの意味は以下のとおりです。

	該当する Bluetooth デバイスが付近に存在していて、接続可能であることを意味します。
	該当する Bluetooth デバイスと接続していることを意味します。

## ヘッドセットのペアリング情報を削除する

ペアリング後、ご不要になったヘッドセットの情報は削除することができます。メニュー画面を開いて、「Bluetooth 設定」>「削除」の画面から削除したい機器を選択してください。

## 削除の流れ



※接続中のヘッドセットは削除できません。削除するには先に接続を解除してからお試しください。



## 動作確認機種

Bluetooth ヘッドセット/スピーカーの動作確認機種はそれぞれ以下のとおりです。

### Bluetooth ヘッドセット

メーカー	品名
Plantronics	Explorer 100
Jabra	Jabra TALK25
Kashimura	BL-72/BL-72S

### Bluetooth スピーカー

メーカー	品名
Jabra	Jabra SPEAK 510
SONY	SRS-XB13 / SRS-XB01

#### ◆ご注意ください◆

- ・ Bluetooth ヘッドセットと接続中の場合、Bluetooth ヘッドセットのマイク/スピーカーが優先されます。

## 12. ネットワークを設定する

本製品ではクラウドと接続するためのネットワークとして LTE による接続と、無線 LAN による接続の 2 種類が利用できます。

**LTE による接続は、出荷時に設定情報が固定されており、設定変更することはできません。**本章では、無線 LAN のネットワーク情報の登録や設定の方法を説明します。

なお、本製品では無線 LAN のネットワーク設定を登録する際には専用の Web ページで QR コードを生成し、本体でその QR コードを読み込む必要があります。登録の際には Web ページを開くための PC やスマートフォンを事前にご用意ください。

### 無線 LAN を設定する

LTE の電波が入らない場所や不安定な場所は無線 LAN によりクラウドに接続することができます。本製品では QR コードを読み込むことで無線 LAN の接続情報の設定を行います。

#### 設定用の QR コードを生成する

##### 設定情報の確認

ご利用予定の無線 LAN の以下の情報を確認してください。ご不明な場合はお客様のネットワーク管理者様にご確認をお願いします。

- SSID
- パスワード
- ステルスモードの有無

## QR コードの生成

以下のページにアクセスして、確認した無線 LAN の接続情報を入力してください。必要な情報を入力後、ページ下部の「QR コード生成」のアイコンをクリックするとアイコン下に QR コードが表示されます。

### ▼ネットワーク設定用 Web ページ

<https://safie.link/app/network>

無線LANを設定する

SSID (ネットワーク名)

パスワード

セキュリティ

☒ WPA/WPA2

アクティブスキャン

☒ 使用しない ☐ 使用する

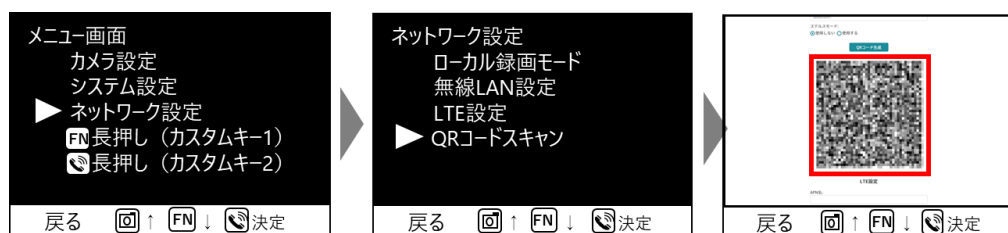
図 設定用 Web ページ画面サンプル

## QR コードを読み込む

本体のネットワーク設定画面内、「QR コードスキャン」の画面で、前項で生成した QR コードを読み込みます。

### 読み込みの流れ

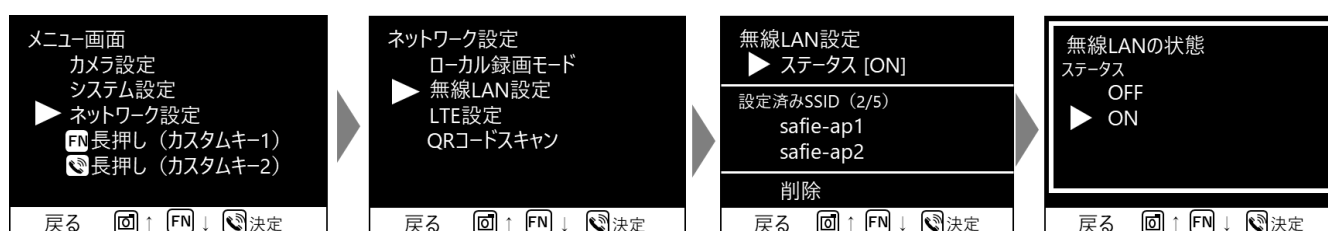
「QR コードスキャン」の画面を開くとプレビュー画面に赤枠が表示されます。画面を見ながら QR コードが画面内の赤枠に収まるように本体を動かして調整してください。読み込みが完了すると自動的に本体に情報が登録されます。



## 無線 LAN を利用する

無線 LAN を利用するには、無線 LAN の設定を有効にする必要があります。ネットワーク設定画面内の「無線 LAN 設定」>「ステータス」から無線 LAN 設定を ON（有効）に設定してください。

### 無線 LAN 有効化の流れ



## 優先設定する

本製品では、無線 LAN が複数ある環境下などで、特定の無線 LAN を優先的に利用できるように優先設定の機能があります。優先設定はネットワーク設定画面内の「無線 LAN 設定」から行います。

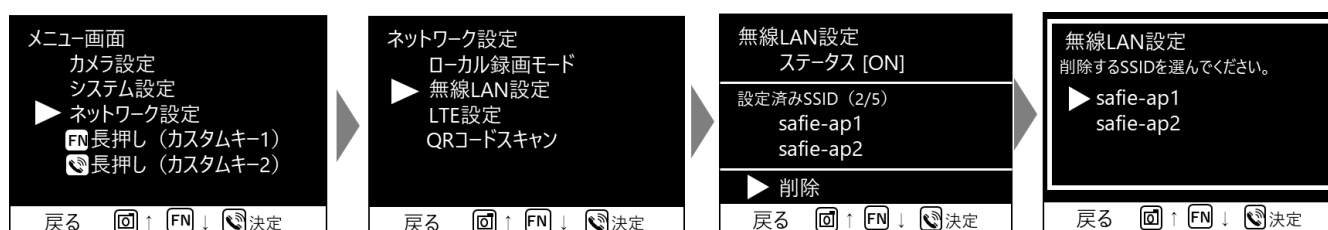
### 優先設定の流れ



## 設定した情報を削除する

登録した無線 LAN の情報が不要になった場合、ネットワーク設定画面内の「無線 LAN 設定」>「削除」から削除が可能です。

### 削除の流れ



※接続中の無線 LAN の情報は削除できません。削除するには先に接続を解除してからお試しください。

## ネットワークの自動選択

本製品は、現在接続中のネットワークが切断した際に既定の優先順位に基づき別のネットワークに自動で再接続します。優先順位は以下のとおりです。

優先順位	ネットワーク
高	LTE
中	無線 LAN（優先設定）
低	無線 LAN（非優先設定）

### ◆ご注意ください◆

- ・設定が OFF になっていたり、設定が ON でもそのネットワークに接続できない場合（圏外など）はその次に優先順位の高いものが選択されます。
- ・非優先設定の無線 LAN で候補が複数ある場合は電波強度が最も高いものが優先されます。

## 13. GPS を設定する

本製品は測位衛星システムから位置情報を取得することが可能です。位置取得すると、クラウド側で端末の位置の把握や、撮影するスナップショットに対して取得した位置情報を埋め込むことができます。本章では GPS の有効化/無効化の方法について説明します。

※GPS を有効化（ON の状態）することで、上記のクラウド側での参照やスナップショットへの情報付加は自動的に行われます。

### 設定の流れ



## 14. その他の操作

### 広角補正を有効にする

映像補正設定で広角補正を設定すると、水平画角 120°、垂直画角 86°の広角での撮影が可能です機能を搭載しています。

#### 設定の流れ



### 露出を補正する

映像の露出を補正する機能を搭載しています。ご利用の環境に応じて露出補正することで、映像の白飛びの抑制や暗所での利用時には映像全体を明るくする調整がされます。(初期設定は やや暗くする に設定)

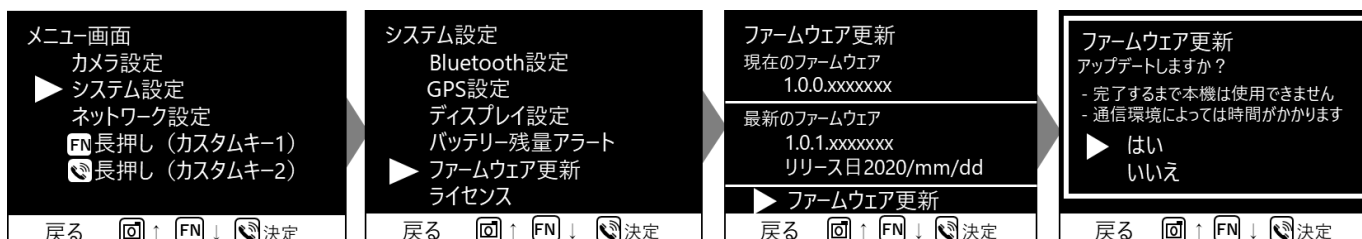
#### 設定の流れ



### ファームウェアをアップデートする

本製品はクラウドから最新のファームウェアを取得することができます。ファームウェアのバージョンアップには新機能や不具合修正が含まれますので、常に最新のバージョンでご利用いただくようお願いいたします。

#### ファームウェアアップデートの流れ



※上記 3 つ目の画面で、「ファームウェア更新」の項目が無ければ端末のファームウェアは最新の状態です

## ◆ご注意ください◆

最新のファームウェアが配信されると、本体起動時に以下のような画面が表示されます。通話ボタンを押下で上記のファームウェア更新画面に遷移します。FN ボタンを押下でキャンセルされます。



## ディスプレイの点灯時間を変更する

本製品は背面ディスプレイの点灯時間を変更することが可能です。ディスプレイを見ながら作業する時間が長い場合は設定を変更のうえご利用ください。

## ディスプレイ変更時間変更の流れ



## デバイスの状態を確認する

本製品の本体温度や現在のファームウェアのバージョン、本製品の MAC アドレスを参照できます。メニュー画面の「システム情報」からご確認ください。

## 確認の流れ



## ライセンスを確認する

本製品の技適への適合状況や利用しているライセンスの情報はメニュー画面内の「ライセンス」から参照できます。

## 確認の流れ













## 15. 安全上の注意

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止(してはいけないこと)を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

### 危険

#### 使用環境・条件



引火、爆発のおそれがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



運転しながら本製品を操作（通信）するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（通信）してください。

## バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックは下記のことをお守りいただけない場合、けがやバッテリーパックの漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



バッテリーパックを電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。



本体に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



付属のクレードル、AC アダプター、DC ケーブル、推奨されたモバイルバッテリー以外では充電しないでください。推奨モバイルバッテリーは、弊社ホームページ等でご確認ください。また、クレードルを水気のある場所で使用しないでください。



充電は適正な温度範囲(0℃~35℃)外でおこなわないでください。



バッテリーパックを本製品以外に取付けないでください。



火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。



濡れた本製品とバッテリーパックを充電しないでください。火災や感電の原因となります。



端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。



液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

## 警告

### 使用環境・条件



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での本製品の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。



本製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

## 使用方法について



オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。



エアバック装置の近くに本製品を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たって怪我をすることがあります。



機械に巻き込まれるおそれのある場所では、スピーカーマイクホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。



本製品の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



本製品は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



高温になる場所（火や暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、怪我の原因となります。



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。



DC ジャック給電とクレードル給電を同時に行わないでください。  
バッテリーパックの劣化、火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。

## 異常の処理について



内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。



煙が出たら、すぐに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店もしくはサポート窓口にご連絡ください。



雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

## 保守・点検



本製品のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

## ⚠ 注 意

### 使用環境・条件



テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。



直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



DC ケーブルの本体挿入時など、端子カバー、nanoSIM スロットが開いた状態で水気のある場所で利用しないでください。浸水して故障の原因になります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。



本製品や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

### 使用方法について



レンズスライドカバーの内側の金属部には触れないでください。金属部が高温になる場合があり、直接触れるとやけどの原因となります。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本体の内部にご注意ください。破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



長期間使わないときは、電源を切ってください。



お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。



ヘッドセットやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。



充電端子などに水滴が付いたら、安全のため乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。



充電は周囲の温度が 0℃～35℃の室内で行ってください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となる可能性があります。



満充電された状態で、継続充電はしないでください。バッテリーパックの劣化、火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。

## 16. 付録

### 故障かな？と思ったら

本機に故障の疑いがある際にはまずこちらをご確認ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	充電が切れています。	十分に充電してご利用ください。
手元のカメラ側で音声 聞こえない	ペアリングしているヘッドセット の音量が小さい。	ヘッドセットの説明書を参照のうえ、音 量を上げてください。
映像を閲覧しているパソ コン側で音が聞こえない	マイク・スピーカー音量設定が小 さいか、ミュートになっていま す。	クラウド側のマイク・スピーカーの音量 設定が小さくなっているか、ミュートに なっている可能性があります。クラウド 側の音量を確認してください。
音が伝わらない (音声クラウドに届か ない)	マイクの音量設定が小さいか、ミ ュートになっています。	クラウド側のマイクの音量設定が小さく なっているか、ミュートになっている可 能性があります。クラウド側の音量を確 認してください。
クラウドに繋がらない。	ネットワークに問題があります。	プレビュー画面の LTE/無線 LAN 接続状 況を確認のうえ、ネットワークが接続さ れているか確認してください。
APN 情報は正しいのに LTE が繋がらない	LTE モジュールが起動時にエラー を起こした可能性があります。	再起動をお試しください。何度か再起動 しても復帰しない場合は故障の可能性が あるので、お買い求めの代理店もしくは サポート窓口にご相談ください。
APN 情報や SSID が削除 できない	内部的なエラーです。	本体を再起動して、再度お試しください。
Bluetooth デバイスとペ アリングできない	コネクション時のエラー、もしく は Bluetooth デバイスがペアリン グ状態でない可能性があります。	Bluetooth デバイスがペアリング状態にな っていることを確認して、もう一度お試 しください。
QR コードが読み込めな い	無効な QR コードの可能性があります。	専用ページから作成された QR コードか 確認して、もう一度お試しください。
QR コードで読み込んだ 情報が保存できない	内部的なエラーです。	本体を再起動して、再度お試しください。
ファームウェアが更新で きない	ネットワークエラー、もしくは内 部的なエラーの可能性がありま す。	ネットワークの接続状況を確認してくだ さい。エラーが繰り返し表示される場合 はお買い求めの代理店もしくはサポート 窓口にご相談ください。

## 認証規格の表示

- 本端末は、電波法並びに電気通信事業者法に基づく技術基準に適合しています。  
以下の方法で右記の技適マークおよび認証番号を画面に表示することができます。
- 「メニュー画面」>「ライセンス」の中にある下記マークを参照ください。



## 2.4GHz 帯ご使用上の注意

- 本端末の Bluetooth 機能および無線 LAN 機能は 2.4GHz 帯を仕様します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の免許を要する構内無線局および免許を要しない特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局（以下、総じて「ほかの無線局」という）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに仕様周波数を変更するかご利用を停止してください。
  3. その他、ご不明な点やお困りごとが起きた場合はお買い求めの販売店、もしくは本紙に記載のサポート窓口までお問い合わせください。

## 5GHz 帯ご使用上の注意

- 本端末は、5GHz の周波数帯において、5.2GHz 帯（W52）、5.3GHz 帯（W53）、5.6GHz 帯（W56）の 3 種類の帯域を使用することが可能です。
  - 5.2GHz 帯(W52 / 36、40、44、48ch)
  - 5.3GHz 帯(W53 / 52、56、60、64ch)
  - 5.6GHz 帯(W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)
- 本端末に内蔵の無線 LAN を 5.2GHz/5.3GHz 帯でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

## 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは以下のサポート窓口、もしくはお買い求めの販売店までご連絡ください。

### セーフィーサポート事務局

メールアドレス : support@safie.jp

受付時間 : 月～日曜 終日

対応時間 : 月～金曜 10:00～17:00 ※当社指定休業日を除く

